

9月16日 見かけと誤解

ホームステイ先で朝飯を食べ、センターに行ってブンさんに野菜が採れる畑が見たいと言うと、Fernさんのお家につれていってくれた。Fernさんはチュラロンコン大学というタイの東京大学のようなところの物理化学コースを卒業しているそうで、英語も喋れる。ブンさんも「fernはgeniusだ!」と言っていた。Fernさんのお家のgarden(=畑?)ではいろいろ野菜について教えてもらった。全部を紹介されたわけではないと思うが、たぶん種類は20種類を超えていると思う。バナナ、ココナッツ、ランブータン、ジャックフルーツ、ドラゴンフルーツ、ライムなどの果実系もあり、レモングラスやバジルなどのハーブ系、イモも有って、いろいろなものが育てられていた。日本にあるような畑ではない。畑というか、庭に雑草と共に配置しているという感じだ。雑草ひとつなく整備されているわけでも、黒マルチシートが張られているわけではないのだが、fernさんのおばあちゃんがいつも手入れをしていて、採りたい作物の周りには雑草が無く、ちゃんと成長している。おばあちゃんが毎日管理するから黒マルチなども要らないのだろうか。家の向かいの道路を挟んだところにもgardenが有り、そこはマンゴスチンの樹が並んでいた。「おばあちゃんが庭を手入れしている」この日本語から得られる「庭」のイメージとこのバンジャムルのgardenでは全くスケールもタイプも違う。おばあちゃんすごいなあと思った。

Fernさんのお家にもサン・プラ・プームが有った。おばあちゃんがお祈りをしているそう。そのままFernさん家でお昼ご飯を頂いた。となりの家のママさんも子供を連れて来て、一緒にご飯を食べた。ご飯はとてもおいしかった。フライドチキンも有って豪華だった。その後、fernさんにカピという激辛塩辛みたいなものと、ナンプラーを見たいと言うと、昨日連れて行ってもらったアートイチャンのお家に連れて行ってくれた。カピは見れなかったが、ナンプラーの中をすこしだけ見せてもらった。ナンプラーは臭いがなかなかだった。アートイチャンのお家には池が有り、そこにはたくさんの魚がいた。30匹くらいいるんじゃないだろうか。池にエサをまくと一瞬で群がってくるのが楽しかった。しかも驚きなのが、アートイチャンはこの魚をペットとして飼っていて売りには出さないし食べもしないということだった。僕の感覚としてはこんないっぱい魚を「ペット」として飼うことは考えられないからだ。豪華な家といい、スケールのデカイペットといいアートイチャンは驚かせてくれる。アートイチャンのお家の次は、先ほどのママさんと赤ちゃんとfernさんとでママさんのサイドカー付バイクに乗せてもらい、バンジャムルの飲まない水全般を担っている池に行った。この池からトイレやシャワーや下水道に水が流れるそう。また、年に一度の「ソングカーン」という行事の際はそこで身を清めるために座禅して修行をしたり、おもちゃの水鉄砲で撃ち合ったりするそう。また、池は深すぎて泳ぐのには危険すぎるそう。その後、いったん家に帰ってみると自転車が運ばれてきていた。昨日の住民集会のあとでファイ・チャチャイが手配すると言っていたものだ。「足」を得た僕らはバンジャムルを30分ほど散策した。センターに帰ってきてからはタイのスリム県

からの観光客とともにバンジャムルンのバスツアーに乗せてもらい、海に行き、ラヨーン県出身の詩人であるスートンプーの記念碑を見て、帰ってきた。途中雨が降ったので、一人の人に僕が持っていたタオルでベンチを拭いてくださいというジェスチャーをしてタオルを渡そうとすると受け取らないので僕が拭いた。「コップンカップ (=ありがとう)」と言われてうれしかった。僕から渡していったのだが、他の人もどんどん拭いていった。しかし、一人の人が早く貸せみたいな感じでタオルを取ったので、なんだかなあと思った。たぶんこの人は僕がここの従業員でタオルを提供するのは当たり前と思っていたのだろう。浪人時代に塾の塾長（自称：じいじ）が先生からもらったという謎の言葉「誤解される権利」ということばが頭に浮かんだ。タオルを受け取るように指示して自らタオルを提供したのは僕自身だが、それが無下に扱われると嫌に感じる。でもそれはそうゆう誤解を招く行為をしているのだから仕方ない。でも誤解を招かないという選択肢も有った。でもそうはしなかった。こういう場合は「誤解される権利」を行使したと言えるのかなあ？と思った。が、やはりよくわからない。そんなことを帰りの車中では考えていた。

帰ってから夕ご飯を食べ、コミュニティセンターでブンさんと ta さんと飲み会をした。高知から土佐鶴を持ってきていたので、それも飲んでもらった。3月に行った旅行で買った台湾のお酒も持ってきた。ロンコンと牛の炒め物とお菓子をつまみに飲んだ。Ta さんはアイ・チャチャイさんの息子で、29 歳。4 年前までは政治学の教師をしていた。地元に戻り農家をしたいという気持ちが強くなりバンジャムルンに帰ってきたそうだ。Ta さんは修士号までとっていたのだが、それでも博士号を持つ教師よりは低賃金だそうだ。タイの教師は年功序列制で年を取れば取るほどに給料が上がるそうだ。すきやきが好きと言っていた。ちなみにブンさんは 34 歳。Ta さんはピンクのバスケットのシャツに短パンですこしヤンチャな兄ちゃんっぽいのに博士号とるほど頭よい。なぞい。でもその感じがいいなあと思った。英語こそあまり話せないけど、頭の中はいろんなことを考えてるんだろな〜と思った。タイ語が喋れたらなあ・・・。

fern さんのお家

